

小学校 6 年

持続可能な社会のためにできることを考えよう

大東市立三箇小学校

教科

家庭

単元名

持続可能な社会のために

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・持続可能な社会のために、日常生活の中から問題点を見いだし、よりよい生活を提案する。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・伝えたい内容に応じて必要な情報を見つけ出し、選び取る。

・キャッチコピーやレイアウトの工夫を考え、思いが伝わる表現方法を考える。

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

G-STEP 3, I-STEP 3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全 6 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	- 単元の見通しを持ち、本単元のゴール（SDG s の目標達成のためにできることを呼びかけるポスター作成）を確認する。 「持続可能な社会」について考え、交流する。 - SDG s の 17 の目標から自分が調べる目標を決める。
第 2 次 (3 時間)	- 学校図書館、地域の図書館の本やインターネットを使って自分が調べたい SDG s の目標に関する情報を収集する。(本時) (☆) - 調べたことを図や言葉を用いてまとめる。(☆) - SDG s の目標を達成させたいという自分の思いを訴えかけるために必要な情報を取捨選択し、ポスター作成のイメージをもつ。(☆)
第 3 次 (2 時間)	- よりよい生活を提案できるようなポスターのキャッチコピーやレイアウトを構想する。 - SDG s の目標を達成させたいという思いを込めたポスターを作成する。

本時のねらい

・学校図書館、地域の図書館の本やインターネットを使って、よりよい生活を送るために必要な情報を集めることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 本時のめあてを確認する。 「よりよい生活を送るために、必要な情報を集めることができる」 ・前回自分が決めた SDG s の目標について確認する。	・どの資料を活用して調べるのか、イメージできるようにする。
展開 (35 分)	2. ポスターを作るために本やインターネットを活用して情報を集める。 ・「どんな問題があるのか」「だれが困っているのか」「解決のためにできることは何か」などを中心に調べる。 ・参考資料として、出典を明記する。	学校図書館や地域の図書館から SDG s に関する図書を集めて、児童が自由に選べるよう教室に置いておく。
まとめ (5 分)	3. 自身の進捗を友だちと交流する。	・自身の進捗を交流することで、もっと調べたことや必要な内容を確認。 ・進捗に課題がある児童には、同じ目標で調べている児童と交流させる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・タブレットの方が「早く調べることができるからいい。」と言っていた児童には、情報の正確性を考えると、本の方が安心だったり、正確だったりする部分があるということをふまえ、それぞれのメリットやデメリットについて考えるように促すことがポイント。

・学校図書館だけでなく、地域の図書館の本も活用することで、児童 1 人に 1 冊以上の本を準備でき、幅広く資料を活用することができた。

・インターネットでの事前学習の際には、SDG s 関連のサイトを使用した。児童にも分かりやすく、SDG s について考える導入に大変有効であった。



調べたい事柄によって本とタブレット端末を使い分けている